

---

# 侍魂 サムライソウル

夕風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

侍魂 サムライソウル

### 【Nコード】

N4844V

### 【作者名】

夕凧

### 【あらすじ】

もし、現代に帯刀者がいたとしたら・・・  
という感じのお話です。

## 主人公紹介（前書き）

現代のサムライなんてかつこよくないですか!?

なんてゆうわたしの妄想に付き合える方いらっしやいましたら  
読んで頂けるとありがたいです。

それではどうぞ

## 主人公紹介

### 主人公紹介

帯刀特権 帯刀者名簿

氏名・・・凜音 ゆう 【リンネ ユウ】

刀・・・名刀 青龍 【セイリユウ】

学校・・・桜花学園 中等部 2年

誕生日・・・4月6日 14歳

血液型・・・A型

性格・・・はつきりと物事と伝えるタイプ（感情の変換が超はやい）

好きなことば・・・下剋上

名刀 青龍の外見

主な色 青

鞘 青 裝飾 銀

## 特徴

柄頭に青と銀色で編みである紐と長い装飾品が2つ付いている

## 主人公紹介（後書き）

どうでしたでしょうか？

あまり、文章力がないので

想像力をフルに使って読まなければいけなかったと思います（笑泣

頑張って、できるだけ早く第1章を載せようと思いますので、  
暇な方はどうぞよろしくお願いします。

## 第1刀（前書き）

ようやく1話を載せます

お目汚しにならぬよう頑張っています!!

## 第1刀

### 第1刀

ここは平成、帯刀者のいる世界。

そして、この私凜音ユウも帯刀者の1人である。

これは、私のまわりでおこる（いや？おこすなのか？）お話。

ガラガラ

「失礼します。」

「おお。凜音、どうした？授業で分からない事でもあったか？」

「違います。コレです。」

ガシヤン

「は？え？か、刀!？」

「はい。コレを学校に持つてくる許可が欲しいんです。」

「コレは真剣だよな？」

「？そりゃ、そうですが??」

「い、いや。なんで刀なんかを・・・」

「え？ああ。えーつとですなあ。」

うちの家は代々帯刀者の権利、帯刀特権を与えられているんですけど、

14歳になると、刀を渡されるんです。

そして、その刀は肌身離さず持っていないければならないという掟があるんです。」

「で、学校にまで帯刀しなければいけないと？」

「はい。」

「そうだな。校長先生に相談してみるよ。」

「よろしくお願いします。」

5分後

「OKだそうだ。」

「へ？思ったより早かったですね・・・」

「ああ、この学校は他にも帯刀者がいるそうなので、ラクに許可がおりたんだ。」

「え？でも、刀を持っている人なんて見たことないんですが。」

「現に今、刀を持っているやつは高等部に1人いるんだそうだ。」

「強いんですかね？その人。」

「さあ、先生も高等部の事はよく知らないから・・・ってなぜそれを聞く！？」

「もし、帯刀者に会った場合は決闘を申しこまなければいけないんです。」

「け、決闘！？なんでだ？」

「刀は帯刀特権のある家に1本ずつ名刀が与えられるです。」

家の刀はココにある【青龍】なんですけど、・・・簡単に説明すると名刀の奪い合いをするんです。」

「は？名刀？奪い合い？」

「詳しく説明しますと・・・」

名刀を奪い合い権力の争奪をするんです。」

「それって詳しい説明か？」

「詳しいと思いますけど？まあ、1言で言つと下剋上です。」

「は？！今の御時勢下剋上なんて言葉を聞くななんて思わなかったぞ。」

「そうですね？好きですよ？下剋上。」

「そんなこと聞いてないっ！！・・・で、強いか聞いたってことは決闘を申し込みに行くのか？」

「あーそうですね・・・行かなくても来ると思いますよ？」

「え？なんで・・・」

「そりゃ、刀持って歩いてたらずぐ噂広まりますよ。」

「あ・・・そうか。ボソツなんか能力あるのかと思ってしまった・・・。」

「なにかおっしやいましたか？」

「あ。いや、なんでもないんだ・・・」

「？それじゃ、失礼します。」

「ああ、じゃあな。気を付けて帰れよ。」

「はい、失礼しました。」

ガラガラ

「そっいや。決闘って真刀使うのか？ま、それはないか。ハハッ」

## 第1刀（後書き）

どうでしたでしょうか？

次回は決闘に進みます・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4844v/>

---

侍魂 サムライソウル

2011年10月9日10時51分発行